

# 国税庁の仕事

## 国税庁の仕事とは？

税は、経済や社会と密接に関係しています。個人の生活や企業の活動の背後には、所得税や消費税、相続税、法人税といった税が存在しています。そして、経済や社会のあり方が変われば、税制・税務行政のあり方も変えていかなければなりません。例えば、ICT化が進み、経済のグローバル化が進んだ現在の税務行政の姿は、10年前の税務行政からは大きく変わっています。このように、税務行政を取り巻く環境が絶えず変化し続けている中で、答えの用意されていない様々な問題に対して、それを解決していく、すなわち解を創っていくことが国税庁の仕事です。

## 総合職採用者に求められるもの

国税庁の総合職職員には、税務行政の企画・立案の中核を担うという役割が求められます。つまり、経済や社会の変化、納税者の声、国際社会や時代の動向に正面から向き合い、あるべき税務行政を創造することです。そのためには、日頃からアンテナを高くし現場の声に耳を傾け、問題を発見し、税務行政の原点に立ち返ってその問題を解決するとともに、将来的なグランド・デザインを描くことが求められます。また、国民に対して税務行政の説明責任を果たすと同時に、56,000人の組織を率いるリーダーシップを発揮することも必要です。

そのため、国税庁総合職として採用されると、霞が関にある国税庁本庁での勤務のほかに、全国の国税局・税務署での勤務、他省庁への出向、海外留学・在外公館への赴任等、幅広いフィールドが用意されています。

### 長官官房

税務行政全体の基本戦略の 策定及びマネジメントを行い、組織内外との調整を図るとともに、国民に対する税務行政の説明責任を果たす。

- 総務課
- 情報公開・個人情報保護室
- 広報広聴室
- 調整室
- 監督評価官室
- 人事課
- 会計課
- 企画課
- 情報技術室
- 法人番号管理室
- 参事官
- 国際業務課
- 相互協議室
- 厚生管理官
- 監察官
- 税務相談官

### 課税部

納税者が正しく申告できる環境の整備や、税務調査のあり方について企画・立案するとともに、酒類産業行政を担う。

- 課税総括課
- 消費税室
- 消費税軽減税率制度対応室
- 審理室
- 個人課税課
- 資産課税課
- 資産評価企画官
- 法人課税課
- 酒税課
- 鑑定企画官

### 徴収部

国税債権を適切に管理し、自主納付体制の確立や滞納の圧縮に取り組む。

- 管理運営課
- 徴収課

### 調査査察部

大企業に対する税務調査や、大口・悪質な納税者に対する査察調査について、国税局を指導・監督する。

- 調査課
- 国際調査管理官
- 査察課

## 全国的な運営方針を策定

組織全体としての運営方針を企画・立案し、国税局・税務署を指導監督しています。税法の解釈を統一するためのガイドライン(通達)の作成なども行っています。

全国12の  
国税局

国税庁  
約900人

国税局・  
沖縄国税事務所(12)  
約12,000人

## 税務署の監督と 困難事案への対応

国税庁が策定した方針に従い、管内の税務署を指導・監督しています。また、大規模・複雑な事案の税務調査や滞納処分については国税局の専門部署が実施しています。

全国524の  
税務署

税務署(524)  
約42,000人

## 税務行政の フロントライン

納税者からの確定申告や税金の納付を受け付けるとともに、必要に応じ、税務調査や滞納処分を行うなど、現場の第一線で国税の賦課・徴収に当たっています。